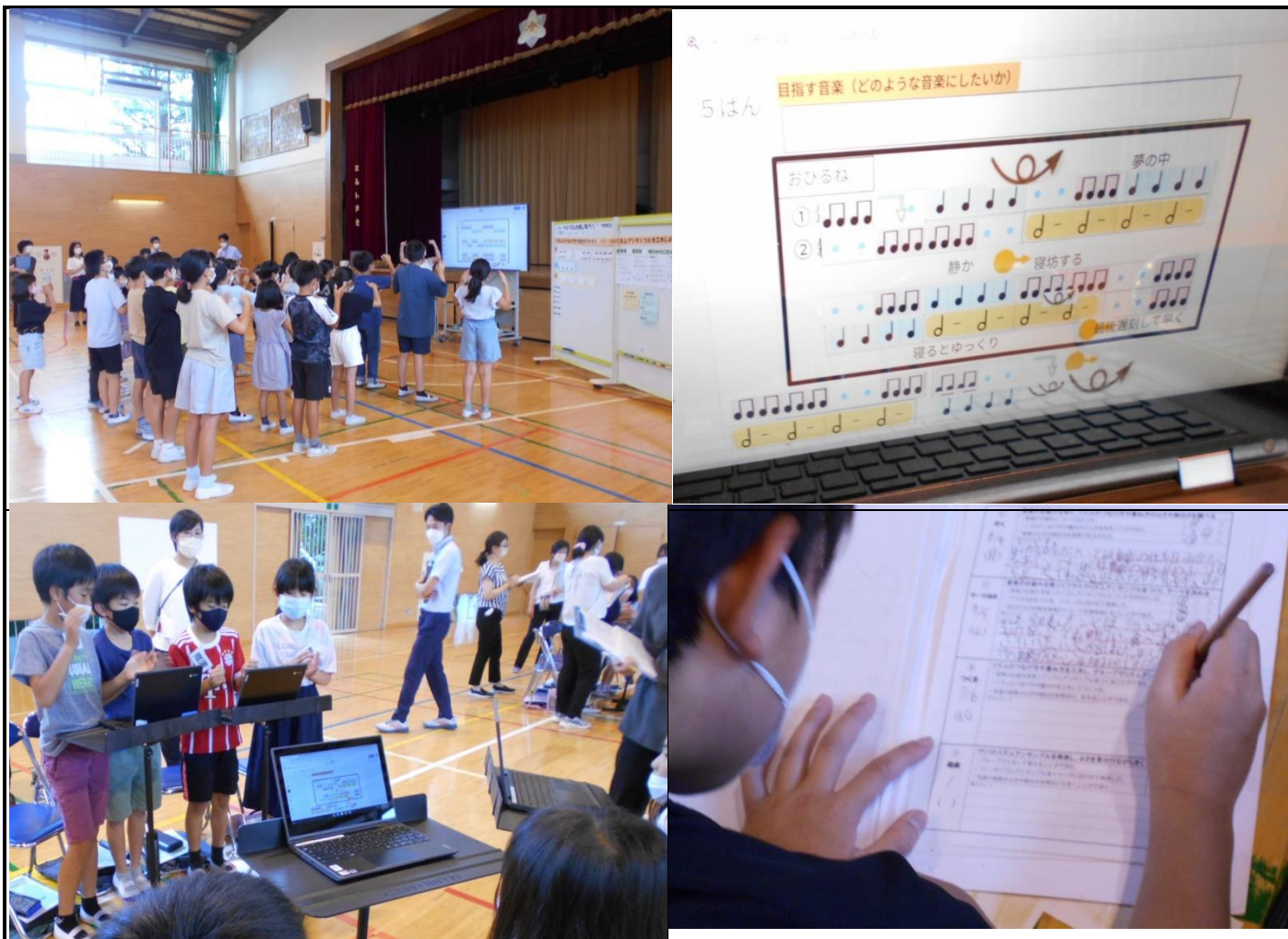


令和4年7月6日(水) 校内研究 話題提供授業と協議

4年生 音楽科



4年生の音楽科の学習では、体育館でいろいろなリズムを感じ取り、8小節のリズムアンサンブルを作りました。小グループに分かれて、それぞれの言葉の意味をイメージしながら手拍子をするなどして、体を動かしながら、楽しく学習する姿が見られました。また ICT(ジャムボード)を活用し、拍や休符の場所を視覚化することで、交流や伝え合いができていました。そのため授業中盤、ペアグループの活動でもジャムボードを見ながら聴き合うことでリズムの工夫を確かめながら聴きました。タブレット操作が誰でもできるため、アドバイスや質問し合う姿もありました。先生が子供たちの良い工夫には、適切な声かけをします。リズムアンサンブルを作る時間を十分にあり、他グループと交流し、聴き合いました。その際には、リズムづくりで工夫した良いところを伝え合いました。授業の最後には、振り返りの時間もあり、次の時間に繋がる姿が見られました。

協議会は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各教室に分散して実施しました。協議会后、練馬区立中西小学校 荻野靖子 指導教諭より、本日の授業の成果や課題、音楽科の授業の指導のポイント(児童主体の深い学びを実現するためには、音楽を楽しみ、好きになる授業を展開すること)などをご指導いただきました。今日の学びを明日からの授業に生かしていきたいと思ひます。